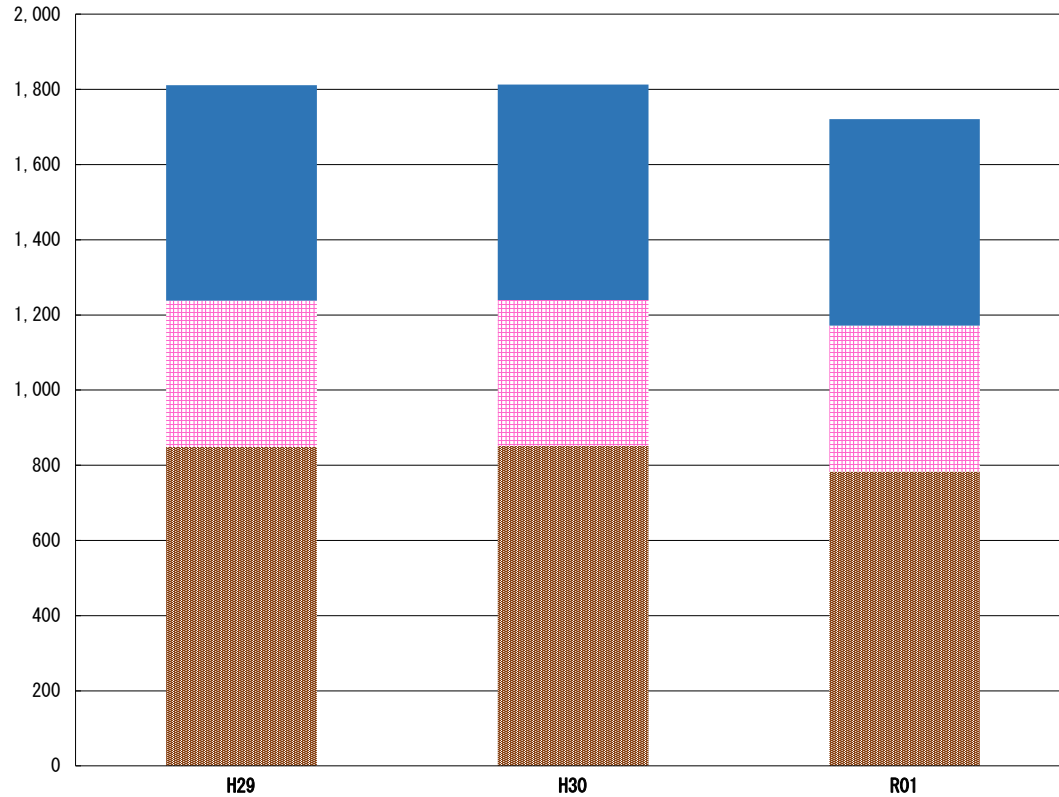


(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

（百万円）



（百万円）

区分	年度	H29	H30	R01
財政調整基金		849	851	783
減債基金		389	389	389
その他特定目的基金		573	573	549
庁舎建設基金		359	359	356
船舶建造基金		80	80	69
人材育成基金		58	58	58
地域福祉基金		35	35	35
水産振興基金		18	18	9
基金残高合計		1,811	1,813	1,722

令和元年度

鹿児島県三島村

基金全体

（増減理由）

当初予定していた繰越金が見込めず、財政調整基金を68百万円取り崩し、併せて、新船建造に伴う諸経費として船舶建造基金を11百万円取り崩すなど、91百万円の減となった。

（今後の方針）

非常に厳しい財政状況であり、現在、基金を取り崩した予算編成になっている。事業実施の効率化や経費削減に努め、現状維持もしくは少しでも積み立てることとしている。

財政調整基金

（増減理由）

当初予定していた繰越金が見込めず、68百万円取り崩したことによる減

（今後の方針）

厳しい財政状況ではあるものの、災害への備え等のため、現状維持もしくは少しでも積み立てることとしている。

減債基金

（増減理由）

増減なし

（今後の方針）

地方債の償還計画を踏まえ、できるだけ取り崩しを行わず、現在高を維持していくように努める。

その他特定目的基金

（基金の用途）

庁舎建設基金：庁舎等公共施設の新設・改修等の資金に充当
船舶建造基金：村唯一の公共交通機関である村営定期船の建造を行うための経費財源

（増減理由）

庁舎建設基金：庁舎の耐震化及び改修に充当するため、3百万円取崩による減
船舶建造基金：新船建造に伴う諸経費に充当
水産振興基金：活魚畜養センター整備に充当

（今後の方針）

庁舎建設基金：庁舎（本庁及び出先機関）の耐震化調査及び改修工事等のために、近年に取崩しを行うこととしている。
船舶建造基金：平成30年度～31年度にかけて、共有船方式により新船建造約35億円を支出し、完成後11年目に約3.5億円支払いに備えるため、令和11年度まで積立てる予定である。
水産振興基金：産業振興のために活用することとしているが、少しでも積み立てられるよう財源を確保していく。